

② 用途単位の帳簿事例

用途 食料品

容器包装リサイクル法に係る帳簿フォーマット例

素材ごとに容器包装1個あたりの単位重量を記載します。

素材ごとに排出見込量を算出します。

商品		包材コード	包材名	注意区分			国内利用数量						容器包装1個当たりの重量(g)						排出見込重量(g)						
商品コード	商品名			輸入品	インプラント	受託品	利用数量(ケース)	輸出数量(ケース)	国内利用数量(ケース)	自主回収数量(ケース)	事業系消費数量(ケース)	排出見込数量(ケース)	1ケース当たりの入数(個)	ガラス無色	ガラス茶色	ガラスその他	PETボトル	紙	プラスチック	ガラス無色	ガラス茶色	ガラスその他	PETボトル	紙	プラスチック
				該当なら1	該当なら1	該当なら1	A	B	C(A-B)	D	E	F(C-D-E)	G	H						I (F×G×H)					
001	商品A	Y001	A包装	1			100	0	100		30	70	5	100						35,000	0	0	0	0	0
		Y002	B包装	1			50	0	50		30	20	2	50						2,000	0	0	0	0	0
		Y003	C包装				300	50	250			250	5					50		0	0	0	0	0	62,500
002	商品B	Y004	D包装		1		200	30	170		20	150	10		200				0	300,000	0	0	0	0	
003	商品C	Y005	E包装			1	300	50	250			250	5	対象外(受託製造品のため)											
004	商品D	Y006	F包装				400	100	300			300	20			300			0	0	1,800,000	0	0	0	
005	商品E	Y007	G包装				500	0	500	50	50	400	20			50			0	0	0	400,000	0	0	
006	商品F	Y008	H包装				600	0	600	100	50	450	20				20		0	0	0	0	180,000	0	
007	商品G	Y009	I包装				700	0	700			700	10				100		0	0	0	0	0	700,000	
008	商品H	Y010	J包装				150	0	150		30	120	10	150					180,000	0	0	0	0	0	
009	商品I	Y011	K包装				400	0	400		100	300	10				80		0	0	0	0	0	240,000	
010	商品J	Y012	L包装				200	0	200			200	10			30			0	0	0	0	60,000	0	
用途計																			217,000	300,000	1,800,000	400,000	240,000	1,002,500	

ここで算出された重量、自主回収重量、事業系消費重量を算出し、容リ協会への再商品化委託申込に用います。

注:「利用重量」・「自主回収重量」・「事業系消費重量」については、各商品ごとの該当数量に単位重量を掛けた合計重量を積算する必要があります。